

令和4年度下半期企画展  
「幕末明治の医学と中津川 ～馬島靖庵が見た医学の夜明け～」  
を開催します

まじませいあん

馬島靖庵は幕末期の中津川で活躍した医師で、島崎藤村の長編小説『夜明け前』に登場する宮川寛斎のモデルにもなった人物です。

当館が所蔵する馬島靖庵が残した医学関係資料をとおして、靖庵自身の生い立ちとともに、幕末、明治の医師の姿を紹介します。

■日時

令和4年10月4日（火）から令和5年4月2日（日）  
9時30分から17時00まで（入館は16時30分まで）  
※月曜日休館（月曜日が休館の場合は翌日）

■入場料

330円（団体270円）※団体は10人以上  
中学生以下無料  
六斎市（毎月第1日曜日）入館無料

■場所

中津川市中山道歴史資料館（中津川市本町2丁目2番21号）

■内容等

ともひかがみ

「伴野日鑑」は当時流行していた天然痘の予防接種をした馬島靖庵について記された特に貴重な資料です。また、文化人でもあった馬島靖庵の人的側面もご覧いただけるよう、書・俳句・漢詩なども展示します。

■特徴

医師馬島靖庵が取得した医師免許状や病人を治療する際、拠り所とした各種医学書、薬研、当時の医師が使用した駕籠<sup>かご</sup>等も展示します。

お問い合わせ先

文化スポーツ部 中山道歴史資料館 担当者：西村

電話：0573-66-6888